

避暑

株式会社川本製作所
彦坂 あゆみ

日本リーテック株式会社の西川様よりリレーをいただきました、株式会社川本製作所の彦坂と申します。川本製作所と書きましたが、皆様には「川本ポンプ」のほうがなじみ深い名称かもしれません。

この場をお借りして簡単に当社の説明をさせていただきますと、大正8年にポンプメーカーとして創業をし、100年を超える歴史と文化の中で水のある暮らしを支えてまいりました。一社一業という創業の精神を基に、建築設備用及び家庭用を中心とした汎用ポンプを製造・販売しています。もし、ポンプのことでお困りごとがございましたら是非当社へご相談ください。

リレーをいただいてから半年、一体何を書けば良いのかと無い知恵を絞っていたのですが、今号の発行時期が7月ということもあり「避暑」というキーワードで書くのはどうかと思った次第です。

この文章をお読みいただいている皆様の多くは、お盆等まとまった休日に故郷への帰省や、どこかへ旅行をされた経験があるかと思います。特に夏場は毎年猛威を振るう暑さを凌ぐため、避暑地へ足を運ぶ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

避暑地として有名な地域は「日本三大外国人避暑地」として名高い、山の軽井沢、湖の野尻湖、海の高山がありますが、避暑地という単語を耳にして個人的に思い浮かぶのは祖母の生家があった長野県南西にある木曽町(旧木曽福島町)です。

木曽町は町の中央部に木曽川が流れ、西に木曽御岳山、東には中央アルプス木曽駒ヶ岳が聳える、総面積の90%を山林が占める緑豊かな山間の町です。また、平安時代末期の武将である源義仲が育ち旗揚げをした土地でもあり、木曽福島駅周辺は福島

関所や福島宿など趣を感じる町並みが続いているのが特長です。

海の影響を受けにくい山間部に木曽町が所在しているからか、湿度が低く夏でも平均気温が30度を超えず、特に夜間はエアコンを使用せずとも過ごすことができるため、何度訪れても変わらぬカラッとした空気と木の葉のざわめきが心地良い風に心身共に洗われるような気持ちになります。

長野県と言えばそばが有名ですが、他にも五平餅やそば饅頭などの名物もあり、避暑地としてだけではなく観光地としてもおすすめです。是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

そんな昔ながらの町並みが素敵な木曽町ですが、山間部に位置するせいか、下水道や浄化槽の整備が進んでおらず、トイレは汲み取り式のものを使用している所もございます。幼い頃は水洗式トイレが当たり前の存在だと思い込んでいたので、初めて汲み取り式のトイレを使用した時の衝撃がかなり大きかったことを覚えています。また、お恥ずかしい話ですが、就職をしてこの業界に入るまでは浄化槽の存在や、当社の製品であるポンプを使って給水や排水を行っていることすら知りませんでした。

社会人となり、設備設計に微力ながらも携わるようになってから、蛇口を捻ると当たり前のように水が出てくることや、避暑地に足を運ばずとも季節問わず空調によって快適に過ごすことができる有難さを改めて実感しております。こうして設備を不自由なく使用できるのは設備設計に携わる皆様のご尽力があってからこそですし、僅かながらですがその一助を担うことができ、大変光栄に思います。

これからも建築物になくてもならない存在である設備設計に関わる皆様のお役に立てるよう、より一層精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

次回の放談は大成温調株式会社の加藤真里奈様へリレーさせていただきます。